

新連載

郷土の宝

「北安曇郡歌」 ①

北安曇には明治時代に作られた「北安曇郡歌」があります。しかし、歴史の中にすっかり埋もれてしまっており、その存在を知る人は少ないのです。この「北安曇郡歌」を復活させようと普及会を立ち上げ、CDやDVDを作成した代表の横澤脩夫さんに、お話を聞きました。（今回は一番の歌詞のみです）

山嶽めぐる北安曇 高嶺の雪は夏寒し
解けて落ち来る谷水の 末は姫川高瀬川
その中央の佐野坂は 北と南の分水地



「北安曇郡歌」の概要をお願いします。

明治36年に北安曇教育会が「信濃の国」を作詞した、漢学者・浅井冽先生に依頼し、作曲は長野師範学校音楽教師、早川喜左衛門先生によ



クラフトパークの歌碑前で

り、北安曇の風土や歴史を読み込んだ格調高い郡歌が8番生まれました。

普及させようとした思いは何ですか。

60歳を過ぎてから初めて郡歌を知り、その詩文に感動しました。北安に生まれ育った者は知っていなければならな

と思いました。

長く埋もれてしまった理由は。

浅井先生の「信濃の国」は長野県の歌として全県でうたわれていました。

同じような歌は学校で教える

なかったのではないかと

また、日本の軍色が強まり、情緒のある歌が敬遠されるような雰囲気があったと想像します。

CDを作るにあたっては。

郡歌には多くの旧跡・名所

読者の声

地域交流センターで映画会

地域交流センター「かえで」が9月1日から開設され初めての大会で「モルゲン明日」というドキュメンタリー映画をみました。

須坂市生まれの坂田雅子さん制作で、ドイツが原発をゼロにする取り組みを取材した

ものです。このような映画が見られるセンターができたことはとても嬉しいことです。少し狭さを感じましたが、今後も身近で良い映画をみたいと思います。

日本は8年前に福島第一原発事故を起こしたにもかかわらずトップは責任もと

りません。廃炉も進まず悲しい限りです。（60代女性）

が描かれていますので、それをすべて写真や動画に取るとが大変でした。

私自身ほとんど行ったことが無い場所でしたが、北安の自然・歴史・文化を確認でき

たことは喜びでした。

秋の親睦旅行

日時 10月16日（水）

9時 池田町役場出発

9時10分 ハーブセンター

目的地 木曾奈良井宿方面

（観光ガイドによる案内あり）

会費 2千円（バス代車中

飲み物など、昼食代は別途）

昼食「こころ音」

税込1500円（ソバ、五

平餅などのセットメニュー）

帰着 16時池田着

雨天決行です。

10月10日までにファンクラブ役員または議員にお申し込みください。

お誘い合っ

て参加くださ

い。



消費税10%増税反対
低所得層ほど重く厳しい税金です

政府は10月から消費税を10%に増税する方針を強行しようとしています。

消費税は原材料・完成製造者、卸業者、小売業者と商品の流れのことに課税され、最終的に消費者が全額負担するものです。

政府は消費税の手引書の中で、10%引き上げの趣旨として「社会保障の安定財源の確保のため国民に負担を求め、あわせて財政健全化達成を目指す」としています。

平成26年8%に引き上げる理由として、「社会保障の充実と安定」を掲げました。しかし実態は介護保険料の引き上げや年金支給額の引き下げなど、社会保障は後退しています。

消費税の問題点として、①低所得者ほど負担が重い、②消費税増税は法人税・所得税の減税のため、③消費不況で景気が悪化、④中小零細企業を圧迫、⑤非正規雇用の拡大、⑥輸出大

10%増税した消費税でアメリカから兵器を爆買いする安倍内閣は許せません。

「消費税廃止各界連絡会」は、全国的に粘り強く運動を続けていま

す。反対の声を大きく上げましょう。



訂正

8月号の1面記事で池田町の得票率が17年衆院選に比べ0.6%増となったとの記事に誤りがありました。正確には1.1%増でした。お詫びして訂正させていただきます。

文芸欄

俳句

読者の皆さまからの投稿を掲載します。俳句、短歌、川柳、詩などお待ちしています。

稲実る地産地消の農何処
忙しなく日々の過ぎゆき秋風鈴
秋祭り今宵舞う娘の眉をひく

みち子
幸代
みき子

コラム
有明

10%消費税が重い。こればかりは「待ちに待った」とは言えない。軽減税率なるものを導入して税率が軽くなるかのような印象を与えられてしまった感がある▼今回の軽減税率に関してとても気になることがある。持ち帰りの食品が爆発的に増えることは間違いなく想像できる。それに伴いプラスチック容器の利用が増えることが危惧される▼最近のテレビで、ある食品メーカーが、持ち帰り用の容器を開発し、多少動かしても形が崩れたりこぼれたりしないと言うのだ。勿論レジ袋に入れてもらいたい持ち帰るわけだ。ドイツでは牛乳など瓶を使用し再生が当たり前だと聞くが、日本は益々使い捨てが増えることになる。▼サービスエリアや道の駅などでも食品を買い込んで車内で食べるようになるかもしれない。走りながらのポイ捨てが増えるのではと、心配になる。日本ほど自動販売機が多い国はないと聞くが、今後プラスチックゴミを減らせるのだろうか疑問だ▼とにかく今回の増税のやり方は問題が多いと思う。ポイント還元と盛んに宣伝されるがそれも期限付きで来年6月までの9か月間のみ。税率も決まってしまうことだが最も生活に直結するため注視し、意見を述べることはしていき